

若王子山古墳 発掘品



明治27年7月

將軍山古墳 発掘品




古墳時代
鉄（銅製）
將軍山古墳出土
行田直雄・堀江文雄蔵



古墳時代
鉄本（銅製）
將軍山古墳出土
行田直雄・堀江文雄蔵





古墳時代
人物埴輪(女子)
行田市大字坊三北土
行田市大字坊三北土



1930年
人物像 (土)



古墳時代
人物埴輪(武風)
兵庫県立歴史博物館蔵
1980.10.10撮影



古墳時代
人物埴輪
行田市大塚出土
行田市教育委員会蔵



古墳時代
人物土偶 (女子)
行徳県大正町出土
1908年(明治41年)発見





古陶時代
人形土輪

大正十一年（一九二二年）

大正十一年（一九二二年）

古陶時代
人形土輪

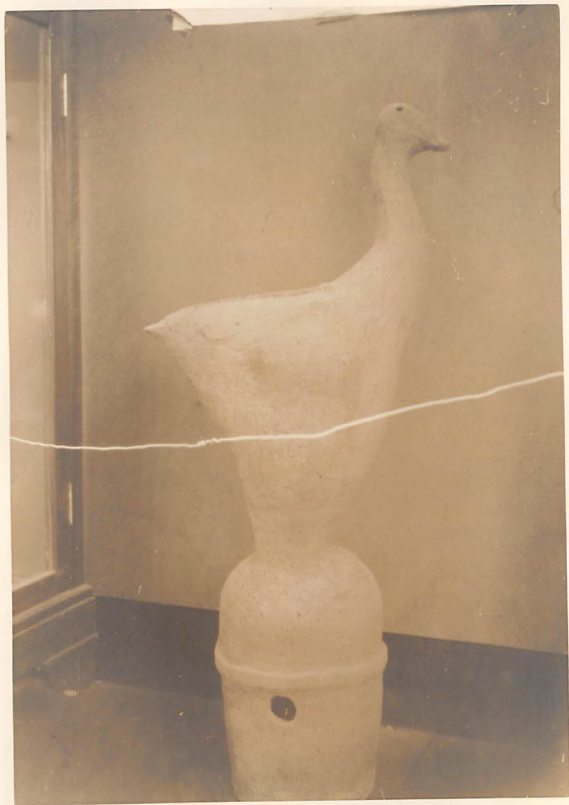
大正十一年（一九二二年）

大正十一年（一九二二年）



古墳時代
埴輪(円筒)
行徳県大塚町出土
行徳県立博物館蔵





水鳥の埴輪の模型

寄附

行田市商工会議会頭 永沼運造氏
製作者 飯塚孝氏 熊谷市上之

この埴輪は埼玉古墳群稻荷山から出土された水鳥の埴輪(果指足文化財)の模型です。

実物よりも二割高いが実物とほとんど同様に

製作されてあります。この水鳥を見ていると埴輪製作者の意匠の高さを殊更に強く感じさせてくれます。

実物は同じ博物館に

陳列されております。



新石器时代
土器
土器器身
（新石器时代）
（新石器时代）

新石器时代
土器
土器器身
（新石器时代）
（新石器时代）



臺灣省立博物館
土器 藍釉鉢
新石器時代
臺南市新橋區

臺灣省立博物館
土器 白釉鉢
新石器時代
臺南市新橋區





埼玉古墳群略図





















武藏北郡 國上野 其に古蹟の遺存 其多を
に人經稠密 文選の發達 俗を察せしむ 衣村山
皇 平桓の古蹟 持五部 石基の跡 其多を
玉由 石基の跡 持五部 石基の跡 其多を
石の故 石基の跡 持五部 石基の跡 其多を
墓山 二子山等 九基の跡 持五部 石基の跡 其多を
原より 史蹟の持定と 交中 石基の跡 其多を
九州 此一例の石基 持五部 石基の跡 其多を
山 規模 持五部 石基の跡 其多を
十八年 望臣 石基の跡 其多を
な 決 下 忍城 攻 賂 石基の跡 其多を
石 全 不 石基の跡 其多を
と 爲 十 小 夢 王 建 碑 石基の跡 其多を
る こと 前後 石基の跡 其多を
ち 一言 石基の跡 其多を

昭和十四年十月

紫田 常 史 三 編

和村 垣 元 著

古墳 丸墓山

所在地 形波 長狭 円田
墳五 丸墓 内環 外環 土

この古墳は古墳群の中核をなすもので、古墳の中心を占める。知里の
中川古墳群未開拓遺跡と同様、遠くまで存在する。今もこの地は、

墳頂に板石石仏安置あり、(一)層塔、西行山に立木あり。水田、
説小舞、(五)層塔等、所以に記述あり。古墳群の中心を占め、

聖徳太子(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、
敏達天皇(或は敏達天皇)の御陵と云ふことあり。但し、

昭和十一年三月

行田市教育委員公









史跡 八幡塚古墳 石椁

県指定

昭和十九年

所在地 行田市荒川町

墳上石椁跡

本古墳は、威那陸奥系、
イートル、面積二六五、
円墳であった。昭和九年、
事があるに古墳の發見、
石椁を引取られた。

石椁は、ほぼ南北の位置、
石三室と具七、
とも朝壁に巨大な縁泥、
祖上り、各室の石造り、
と違つて、
幅四メートル、厚さ六分、
はこれ程大きく長大なもの、
に欠くもの、
には、
特に奥室の床石に、
特殊の切込込の施され、
完全な貴重なものあり、
すなわち、古墳の遺物等、
七世紀初頭の装束と認められ、

行田市教隨委員会























跡

小見真觀寺
土墳

墳

墳